

国の新事業を活用

から さわ しゅん せつ 庚沢川浚渫事業に1,100万円

補正 予算

一般会計補正予算の主な内容

新型コロナウイルス感染症対策関連

- ・新型コロナウイルス感染症対応の保育所、こども園、放課後児童クラブ職員への慰労金給付 752万円
- ・母子手帳アプリにオンライン相談機能を付加 3,000万円
- ・白鷹町地域経済変動対策基金積立 3,000万円
- ・企業が新しい生活様式を実践するために必要な物品の導入を支援 3,353万円
- ・観光事業出店者が、来年度以降も参加を継続するために支援 616万円
- ・感染症拡大防止及び事業継続のため、企業のオンライン化促進への支援 1,002万円
- ・企業の事業承継や雇用継続への支援 200万円

緊急浚渫推進事業 1,100万円

災害復旧のための河川の浚渫工事。

荒砥地区防災倉庫整備事業 1,550万円

災害対応及び避難所対応のための防災倉庫整備。

元気な農業経営による所得1.3倍プロジェクト 210万円

農業経営改善計画の認定を受けている経営体へ農業用機械の導入を支援。

小・中学校情報教育推進事業 973万円

小学校、中学校のGIGAスクール整備事業に大型ディスプレイを追加導入する費用。

病院事業会計貸付金 1億円

町立病院の経営維持のための短期貸付金。

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

質疑

緊急浚渫推進事業

横山委員 緊急浚渫推進事業の対象となる河川は。
建設水道課長 横田尻地内の準用河川庚沢川が対象である。内容としては倒木の処理、伐採、浚渫（土砂の除去）などである。

横山委員 庚沢川が対象となった経緯は。
建設水道課長 以前に災害が起きたというところで、地域から倒木処理等の要望がかねてからあった河川である。他の河川についても現場を確認しながら順次対応していきたい。



流域にたくさんの倒木が（庚沢川）

荒砥地区防災倉庫整備の目的は

丸川委員 荒砥地区防災倉庫は指定避難所の倉庫と理解しているのか。
企画政策課長 指定避難所として必要な物資等の他にコロナ対策の感染予防の衛生用品等も備蓄していく。

丸川委員 地方債も使われ、高額になった経緯は。
総務課長 軽微な物置的な倉庫ではなく防災倉庫という位置づけで、緊急防災・減災事業債に該当するものということで整備する。

令和2年度補正予算総括表

会計項目	今回補正額	補正後の額
一般会計	3億円	100億4700万円

(※万円未満は端数を調整しています。)